

外壁パネルの耐風圧性試験



一般財団法人

日本建築総合試験所

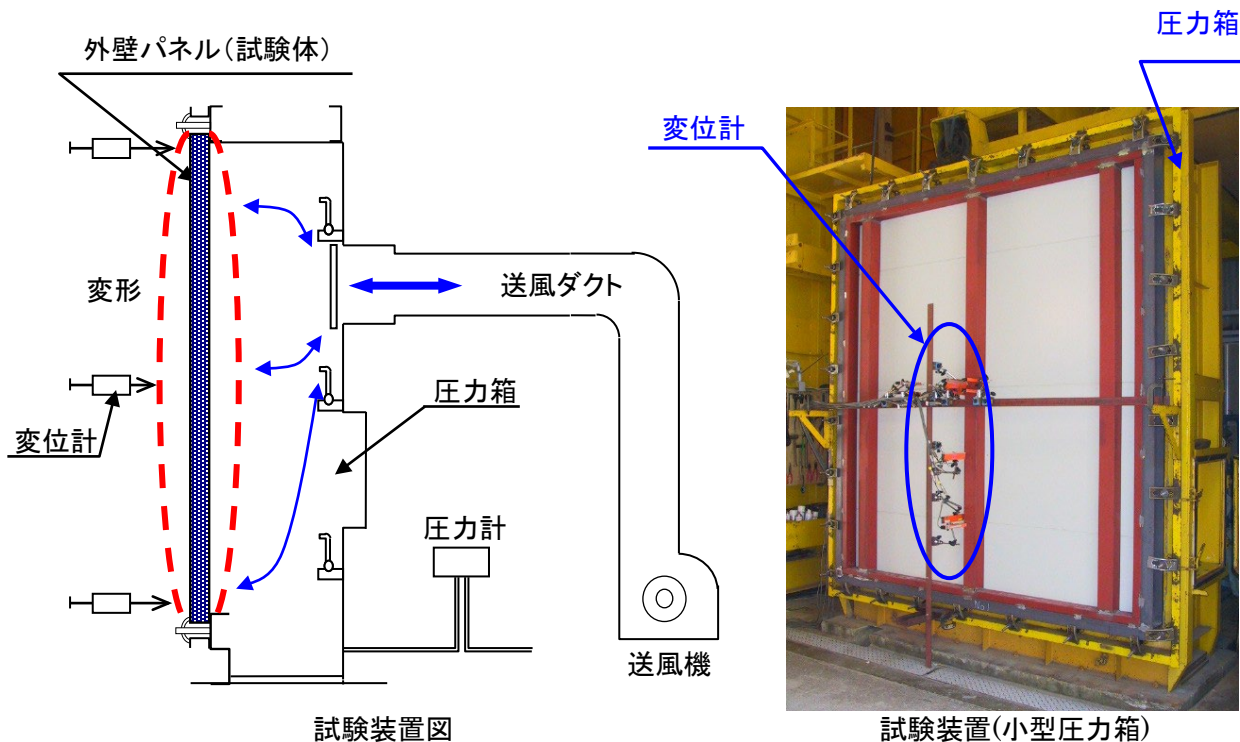
外壁パネルの耐風圧性試験では、建物の外壁に強風(風圧力)が作用した時の安全性を確認します。

外壁パネルの耐風圧性とは

外壁パネルの耐風圧性とは、外壁がどの程度の風圧力に耐えることができるかを表します。台風などの強風で、建物の外壁パネルが変形や脱落をしないことが必要な性能になります。

外壁パネルの耐風圧性試験

下図のように試験体を圧力箱に取り付けて、送風機を用いて圧力箱内に風圧力を加えます。一般に、設計圧力での変形性状を確認した後、破壊に至る圧力を確認します。試験中は変位計を用いて試験体各部の変形量を測定し、試験体各部の変形性状を観察します。



【試験体】 外壁パネル, 屋根パネル等

【試験体寸法】 W2.0m×H2.0m ~ W4.1m×H7.1m (鋼製枠の外寸法)

【最大加圧力】 ±9.8kPa